

ニュージーランド ルビーレッド・キウイの輸出が3倍に増加

FreshFruitPortal 2023年6月13日

ニュージーランドのキウイフルーツ販売事業者であるゼスプリは、ルビーレッド品種のキウイフルーツの輸出量が大幅に増加し、これまでに33万箱を出荷したと発表し、ニュースサイト [Stuff.nz](#) が伝えている。この増加により、この権利関係のある品種の輸出額は以前の3倍になった。今シーズンのルビーレッド品種の主な輸出市場は、日本、中国、シンガポール、台湾等である。

これは、同社の最新の決算で販売量が2億150万箱から1億8,350万箱に減少する中で起こった。2022-23年度の世界での総売上高は23億8千万米ドルで、2021-22年度の記録的な金額から3%減少した。

ニュージーランドのキウイフルーツの生育シーズンは、サイクロンガブリエルと異常に雨の多い天候がほとんどの産地で生産に大きな影響を与えるなど、複数の問題に直面した。このセクターはさらに、業界の深刻な労働力不足、コストの増加及びサプライチェーンの問題に起因する、果実の品質問題に直面している。

ルビーレッドは通常でも他のキウイフルーツ品種よりも果実が小さいが、今シーズンの果実のサイズはさらに平均を下回っている。ゼスプリの生産者・持続可能性担当役員であるキャロル・ウォード氏は同サイトに対し、赤肉品種は良い数字を達成しているが、まだ商業生産の2年目に過ぎないと語った。

ワード氏は、新しく商品化された品種の栽培には「固有の不確実性」が伴い、果実のサイズが小さいことがその要素の1つである可能性があると言う。

トルコ サクランボは悪天候の影響を受けていないが高値

EUROFRUIT 2023年6月15日

このトルコの業者は、価格が正常化し、品質が向上するのを待って今シーズンのサクランボの収穫を開始しようとしているが、作柄は悪天候の影響を受けていないようだ。

トルコ産のアプリコットは天候の問題で今年は悲惨なスタートとなったが、生産・輸出業者のアラナル社は、少なくとも今のところ、同社のサクランボは悪天候の影響を受けていないようであることに感謝している。

同社の販売コーディネーターのイギット・ギョキギット氏は、「弊社のアンズ園は、降雹、降霜、大雨などの悪天候によって台無しになった。サクランボが今のところ無事であることを神に感謝する。弊社の果樹園では2週間以内に収穫を開始する」と述べた。(以下「」は同氏の発言)

トルコの一部の地域ではすでにサクランボの収穫が始まっているが、同社は辛抱強く待っている。

「生産者価格が極めて高く、品質は最高ではない。そのため、価格が正常化するまで収穫を待つことにした。シーズン半ばの6月下旬頃には産地の出荷量が増えてくるようなので、トルコのサクランボ輸出業者にとってはよくなるだろう。」

トルコの輸出業者らは、2020年から留保され、サクランボ供給業者の不満の元になっている中国向けサクランボの輸出手続きの再開を待ち続けている。

「出荷手続きは今年のおそらく7月にも再開する可能性があると思うので、出荷シーズンが終了する前にいくらかでも中国にサクランボを輸出できることを願っている。」

執筆者: トム・ジョイス